

安全な避難のための工夫

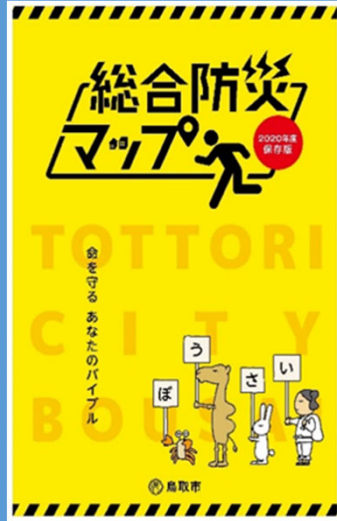
～鳥取市マイ・タイムライン～

(1) 準備するもの

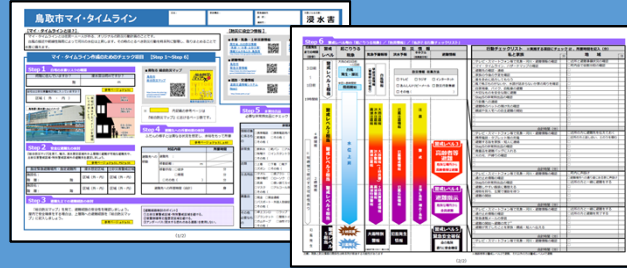
① 鳥取市総合防災マップ

P.5～51の地図面を見ながら、自宅・職場・学校などの身近な場所を見つけ、**水害リスクの確認**をします。

避難する必要があるのか、それとも在宅での避難が可能なのか、避難の仕方を検討しましょう。



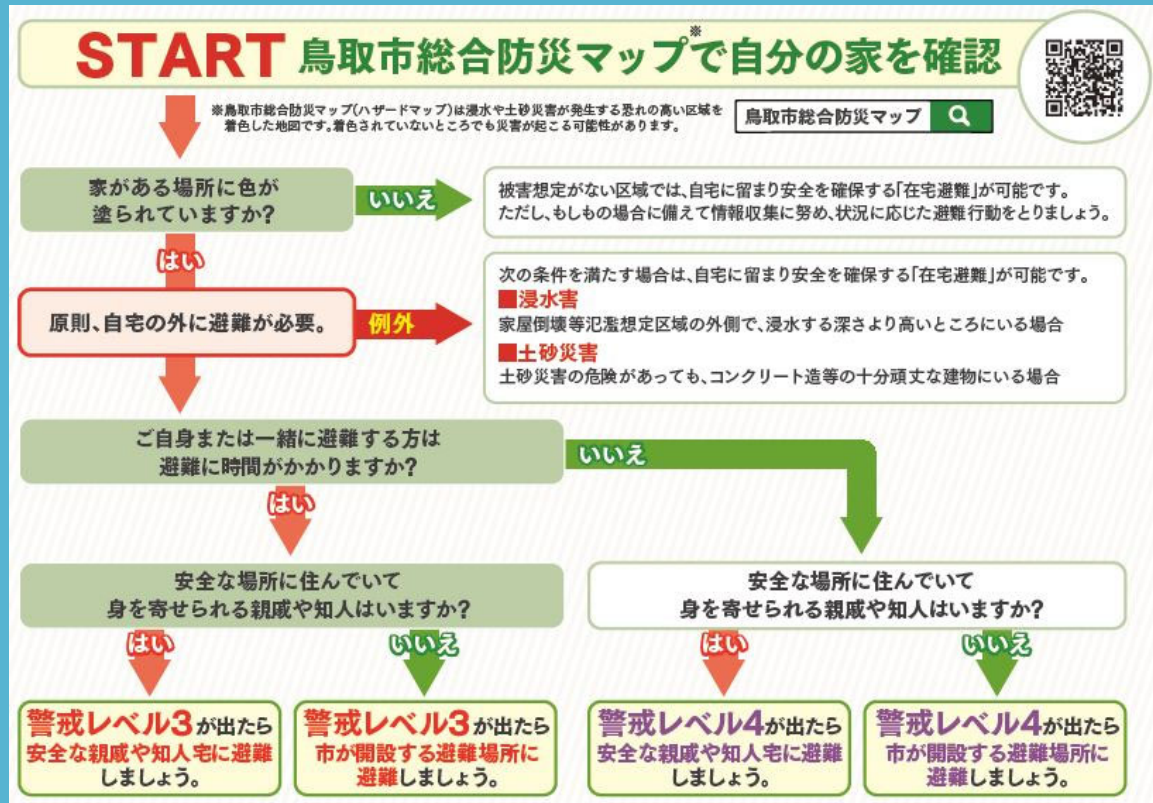
② 鳥取市マイ・タイムライン



住民の皆様一人一人が作る、オリジナルの**防災行動計画**です。
いざというときに慌てずに行動するために、**気象情報や水位情報に合わせて、あらかじめ実施する行動を整理**しておきます。
マイ・タイムラインは一度作成したら終わりではありません。家庭や職場・学校など、自分自身の環境の変化に応じて、**適宜見直し**を行いましょ

(2) 避難のタイミング・鳥取市が発令する避難情報

左図のフローチャートに従って、『鳥取市総合防災マップ』で自分の家を確認しましょう。どの警戒レベルで避難するのかを、併せて確認しましょう。



出典：鳥取市HP (<https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1599177711629/index.html>)

(3) 段階的に発表される防災情報

警戒レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報	相当する警戒レベル
5	命の危険 直ちに安全確保! すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いままの場所よりも安全な場所へ直ちに移動する。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	大雨特別警報 氾濫発生情報	5相当
4	危険な場所から全員避難 過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。この段階までに避難を完了しておく。 台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	土砂災害警戒情報 高潮特別警報 極めて危険 氾濫危険情報	4相当
3	危険な場所から高齢者等は避難 高齢者等以外の方も必要に応じて、前段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	大雨警報 洪水警報 高潮警報 非常に危険 警戒 (警報級) 氾濫警戒情報	3相当
2	自らの避難行動を確認 ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	大雨警報 洪水警報 高潮注意報 注意 (注意報級) 氾濫注意情報	2相当
1	災害への心構えを高める	心構えを一段高める 職員の連絡体制を確認	早期注意情報 (警報級の可能性) 高潮注意報	

1 夜間～翌日早朝(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。
2 「極めて危険」「激しい雨」が出現するまでに避難を完了しておくことが重要であり、「激しい雨」は大雨特別警報が発令された際の警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の範囲に活用することが考えられます。

出典：気象庁HP (<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/bosai/alertlevel.html>)

- ・TV番組
- ・ラジオ
- ・防災行政無線
- ・あんしんトリビメール
- ・緊急速報メール

から、**気象庁等の情報**
市町村の対応
警戒レベル

の情報が発表されたら...



住民がとるべき行動

を実施して、早めに安全な避難を心がけましょう。

裏面へ

(4) 防災情報の入手方法

テレビ
テレビ(NHK、NCN、いなばびよんびよんネット等)のL字放送

ラジオ
FM鳥取(82.5MHz)では、災害時に緊急割り込み放送で災害情報を発信します。

鳥取市公式ホームページ

総合防災マップ
日頃の備えとして、危険箇所や避難場所を確認したり、非常持出品を準備しておくことも大切です。

防災行政無線
放送が聞き取れなかった場合は、本市公式ホームページや、防災行政無線確認ダイヤル(☎0857-21-6100)で放送内容を確認できます。

あんしんトリビメール
メールアドレスを登録しておく、防災気象情報や避難情報などが自動で配信されます。

緊急速報メール
被災の可能性がある地域にいる人の携帯電話に緊急情報を配信します。

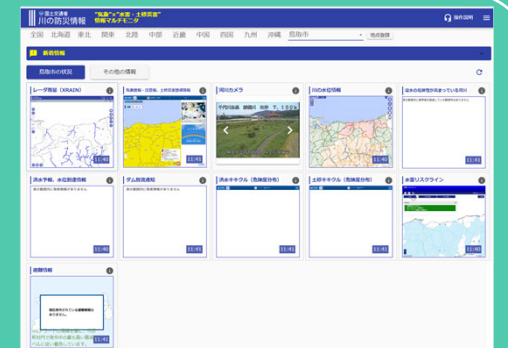
出典：鳥取市HP (<https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1599177711629/index.html>)

【川の防災情報】

国土交通省 川の防災情報から、流域の雨量、洪水予報、浸水想定区域などの情報も入手することができます。

パソコンから <https://www.river.go.jp/>
スマートフォンから <https://www.river.go.jp/s/>

英語版 <https://www.river.go.jp/e/>



(5) 家族会議・身近な人たちとの話し合い



【作業手順】

- ①自宅、公民館、学校、その他施設・建物（公園、店舗など）の位置を確認
- ②河川の位置の確認
- ③避難場所の確認
- ④想定浸水深の確認（浸水深の凡例、イラスト）
- ⑤注意箇所や避難経路の記入（大雨が降ったときのことを想像しながら）

表面より

(6) 安全で適切な避難に向けた、まち歩き



気づいたことはみんなで共有



注意箇所が無いかなどを確認



雨の日を想定しましょう

【作業手順】

- ①現地で注意箇所の確認
- ②新たな注意箇所の把握
- ③より安全な避難経路の確認

【作業手順】

- ①まち歩きによって見つけた注意箇所を発表用地図に記入する
- ②推奨する安全な避難ルートを入力する
- ③班ごとによるまち歩き結果の発表



(7) 非常備蓄品家族が最低3日間過ごせるように準備

■食料品

そのまま食べられるもの、主食になるもの、乾物、その他の食品、常備保存できる野菜、家庭菜園、乾燥野菜

■水

飲料水、生活用水

■調理器具

カセットコンロ、ボンベ、大きめの鍋、フライパン、キッチンばさみ、ラップ、キッチンペーパー、ポリ袋、新聞紙等



(8) 非常持ち出し品 ...避難しやすいよう、リュックにコンパクトにまとめましょう

■水

飲料水、給水袋

■食料品

レトルト食品、缶詰、栄養補助食品等

■調理器具

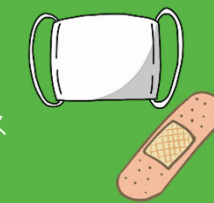
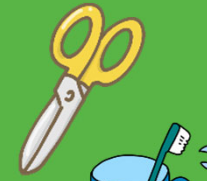
缶切、はさみ、ナイフ、食用品ラップ、ほ乳瓶等

■清潔品

歯ブラシ、簡易トイレ、ビニール袋、紙おむつ等

■薬・救急用品

くすり、ばんそうこう、マスク等



■情報確認手段

携帯電話、予備バッテリー、携帯ラジオ等

■日用品

ティッシュ、懐中電灯、乾電池、マッチ、レジャーシート、軍手、毛布等

■衣類等

タオル、着替え、予備の眼鏡、雨具、スリッパ等

■筆記用具

筆記用具、家族の写真、緊急時連絡先、地図等

■貴重品・書類

現金、車や家の予備鍵、銀行の口座番号、健康保険証等



(9) 避難時の留意点

① 気象状況に注意し、早めの対応を

気象状況は刻々と変化していきます。正しい情報に基づき早めの対応を、心がけましょう。



地域の防災広報に注意し、近くの川の水位上昇にも注意しましょう。



がけ地や河川の近くでは早めに避難の準備をしましょう。



地域の水防活動に協力しましょう。

② 土砂災害に気をつけよう

土砂災害が起きやすい箇所は多数存在しています。台風や集中豪雨によって大きな被害を受けることが考えられますので、地域ぐるみで十分な注意が必要です。



※ 洪水のときの避難方法

- ・はきものは、ひもで締められる運動靴
- ・腰まで水があったら水の中を歩かない
- ・長い棒をつえがわりに水面下の足元に注意



出典：鳥取市HP (<https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1190795598536/index.html>)

★ 避難所におけるコロナウイルス感染防止対策

- a. マスクの着用、手洗い、咳エチケットを守りましょう。
- b. 十分な換気と定期的な検温に努めましょう。
- c. 他の人との十分な距離（2m程度）を取りましょう。
- d. 他の人への思いやりを持って、助け合いながら過ごしましょう。
- e. 体調不良を感じたら、すぐにスタッフ等に報告しましょう。

